

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●リバティアイランドが秋華賞を制して牝馬三冠を達成

10月15日(日)に行われた秋華賞(G I)では、桜花賞(G I)および優駿牝馬(オークス・G I)の勝ち馬で単勝オッズ1.1倍の断然人気に支持されたリバティアイランド(牝3歳/栗東・中内田充正厩舎)が優勝、3歳牝馬三冠を達成しました。牝馬三冠は史上7頭目、阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)も合わせた“四冠”はアババネ以来、史上2頭目の快挙となります。

●松山弘平騎手がJRA通算1100勝を達成

10月14日(土)の4回東京4日・第5レースではルカランフィーストが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上38人目、現役では19人目となるJRA通算1100勝(1万1792戦目)を達成しました。

●高橋亮調教師がJRA通算200勝を達成

10月15日(日)の4回新潟2日・第7レースではフォルテースが1着となり、同馬を管理する高橋亮調教師(栗東)は、現役106人目となるJRA通算200勝(延べ2412頭目)を達成しました。

●ハーツクライが産駒のJRA通算1500勝を達成

10月14日(土)の4回東京4日・第7レースではエクセレントタイムが1着となり、ハーツクライ産駒のJRA通算勝利数が1500勝となりました。JRA史上7頭目の記録となります。

●サークルオブライフとデアリングタクトの競走馬登録抹消

2021年阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)などの勝ち馬サークルオブライフ(牝4歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算8戦3勝)と、2020年に桜花賞(G I)、優駿牝馬(オークス・G I)、秋華賞(G I)を制して無敗のまま牝馬三冠を達成したデアリングタクト(牝6歳/栗東・杉山晴紀厩舎/JRA通算12戦5勝・海外1戦0勝)は、ともに10月12日(木)付で競走馬登録を抹消されました。サークルオブライフは北海道新ひだか町の千代田牧場、デアリングタクトは北海道新ひだか町の岡田スタッドで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●芝のジュニアGPはトワイライトウェイ【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月17日、盛岡、芝1600m)は、中団から追いつけた2番人気の北海道所属馬トワイライトウェイ(牡、父ジャスタウェイ)が残り50mで差し切って優勝。佐賀デビュー馬限定戦の九州ジュニアチャンピオン(9月3日、佐賀、1400m)は、4番人気のトゥールリー(牡、父ダノンレジェンド)が2番手追走から直線半ばで逃げ馬を捉えました。フローラルC(9月6日、門別、1600m、牝馬)は、後方から馬群を割って伸びた2番人気のアメリカハート(父ダノンレジェンド)が、残り100mを切った辺りで差し切り勝ち。イノセントC(9月7日、門別、1200m)は、4番手を進んだ2番人気のトラジロウ(牡、父ダノンレジェンド)がゴール前150mで逃げ馬を交わし、2馬身半差で完勝。新設重賞の若武者賞(9月13日、川崎、1500m)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った2番人気のグラッシーズマン(牡、父アジアエクスプレス)が後続の猛追を凌ぎ、新馬戦から連勝しました。サンライズC(9月20日、門別、1800m)は、2番手から4コーナーで抜け出した3番人気のパッションクライ(牡、父アジアエクスプレス)が重賞初制覇を果たしました。ゴールドジュニア(9月21日、大井、1200m)は、4、5番手から差を詰めたクルマトラサン(牡、父ベストウォーリア)が残り100m標識の手前で差し切り、1番人気に依って新馬戦に続く2連勝。園田プリンセスC(9月21日、園田、1400m、牝馬)は、3番人気の北海道からの遠征馬コモリリーガル(父バトルブラン)が差のない2番手から4コーナー手前で先頭に立って押し切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●凱旋門賞馬エースインパクトが引退

今年のG1凱旋門賞(芝2400m)を制したエースインパクト(牡3歳、父クラックスマン、仏J.C.ルジェ厩舎)の引退が現地10月12日に発表されました。来春からフランスのポーモン牧場で種牡馬入ります。エースインパクトは仏ダービー(芝2100m)も制しておりG1は2勝。6戦無敗での引退となりました。

●デットーリ騎手が今年限りでの引退を撤回

イギリスのチャンピオンジョッキーに1994、1995、2004年と3度輝いたほか、G1凱旋門賞では史上最多の6勝を挙げているランフランコ・デットーリ騎手(52歳)が10月12日、昨年12月に発表していた今年限りでの引退を撤回しました。来年からはアメリカ・カリフォルニア州を拠点に騎乗を続ける予定です。

●芝世界最高賞金のジエベレスト〜シンクアバウトイットが制す

芝レースとしては世界最高賞金(総賞金2000万豪ドル=約18億7800万円/1豪ドル93.9円で換算)を誇るジエベレスト(3歳上、芝1200m)が、10月14日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われ、S.クリッパートン騎手が騎乗したシンクアバウトイット(騾5歳、父ソーユーシンク、J.プライド厩舎)が優勝しました。シンクアバウトイットは今年1月から9連勝。この中にはG1キングスフォードスミスC(芝1300m)とG1ストラドブロークH(芝1400m)も含まれています。